

まち活 ③ つうしん

ねりままちづくりセンター

取材 / 2009年6月28日

——まちづくり活動の悩みといえば、『若い層の参加が少ない』というのがあるけれど、ここの団体は少し違う。現役で仕事をしている方、カフェ運営者、お母さんなど、若いメンバー、それも女性がメインなのです。農家との交流や直売所の活用で、ネリマの生活をもっと楽しく美味しくしたい！と、ワカモノならではの視点で、『農を楽しむライフ』を提案・実践中。畑でイベントがあると聞いて、取材に駆けつけました。

隣の畑に、美味しいものあり。

身近なところに農がある

練馬区は23区の中でも一番畑の多いところ。住宅街や大きな通りがあっても、少し中へはいると、ひょっこり直売所が現れることも少なくありません。新鮮な葉っぱつきのにんじんが目飛び込んできて、思わず買っちゃった！なんて経験も、みなさんあるの

ではないでしょうか。

さて今回、お尋ねしたネリマ・ベジタブル・カフェ（以下：ベジカフェ）のイベント『じゃがいも掘りと釜ゆで収穫祭』も、そんな住宅街の中にある下石神井6丁目の、農家・石塚さんの畑で行われました。土のやわらかさ・じゃがいもの重みを感じながら、とれたての野菜を、その場で食べる。





「畑に入って、農家さんとお話をしながら、野菜の本当の美味しさを感じてもらえたら。」そんな思いが詰まったイベント。普段なかなか接点のない農家の方たちと、お話をし、交流をもち、きっと、いつもの生活がもっと楽しくなるはず！と期待を寄せています。

キャベツはシャキシャキサラダにして、じゃがいもは塩茹でとようかん

で…。「じゃがいもようかん」は石塚さんおすすめの食べ方の一つで、カフェを経営しているメンバーの岩間さんが事前で作ってきたものです。じゃがいもをようかんにするなんて意外ですが、野菜に親しんでいる農家の方ならではの食べ方。仲良くなると、他にも色んな野菜の美味しい時期や食べ方を教えてもらえるかもしれません。

虫も喜んで顔出しているよ

季節は6月。当日の参加者はなんと、およそ140人！このイベントの共催団体『あそボラネットかみしゃく』が、ネットで広報したところ、小学生とお母さん・お父さんたちから定員を超す申し込みがあったそう。まったりと少人数でイベントを開催してきたベジ

団体さん、今日を振り返る。 活動メンバー長谷川さんのお話

あそボラネットさんと初めてのコラボ、大人数でじゃがいも掘り、枝豆王子のオンステージ…今日は盛りだくさんでした。参加者みんなが楽しんでくれたように思いますが、農家さんとのお話の時間が少なかったのは残念かな。ベジカフェは、20代～30代の方たちとゆっくり・まったり活動しているので、今回のような盛りだくさんなイベントは初めてでした。でも、私達の活動を知ってもらえるので多くの方にご参加いただくのもいいですね。次回は、より“顔が見える”イベントを開催して、参加者同士、あるいは農家さんとじっくりお話ができる場にしたいと思います。



イベントが終わってほっと一息。

へ、『直売所活用術』がおみやげに手渡されました。ネリマの農の楽しみ方が紹介された手づくりの冊子。参加者が多くて、一人ひとりに活動の想いを伝えきれなかった代わりに、この冊子が、家に帰った後、おうちでゆっくり読まれることを願って…。



カフェにとっては、少々てんやわんや…。それでも、「コラボレーションをしたことで、新しい関係が築けた」「とれたてのものが食べられる環境がこんな身近にあったなんて!」と嬉しい反響もたくさんありました。とりわけ、石塚さんは、「たくさんの子もたちがやってきて、元気になった。畑が喜んでるよ。」と嬉しそうでした。

そして最後に、メンバーから参加者

石塚さんちの畑に 枝豆王子がやってきた!

枝豆が大好きな、ミュージシャン・児島啓介さん。ひよんなことで、子どもたちに枝豆のレクチャーをしたところ、ついたあだ名は『枝豆王子』。子どもたちのパワーや発想のおもしろさに魅せられて、いつしか子どもたちの前で歌うようになります。

ベジカフェに誘われて、今日も石塚さんの畑に、ギターを片手に登場。『いただきます』や『ありがとう』といったごく当たり前だけれど、とってもあたたかくなる言葉を歌にのせて、みんなで合唱しました。



▶いい天気が10日続くと、大きくておいしい、じゃがいもになるんだって。

活動団体基本データ

設立

2007年7月

活動テーマ

ネリマのワカモノ（20～30代、子どもたちとその親）と農家が繋がるきっかけづくり／農家との接点となる「直売所」を引き立てる工夫をする／遠くに行かなくても、近所の農家の方と知り合うことで、暮らしが楽しくなる」ということに気づきを与える／農あるライフの発信

活動実績

- ・直売所カフェ（2008.2 土支田農業公園）
- ・鎌馬みどりの機織のイベントの手伝い（2008.7 光が丘）
- ・やさしい村のらくがきマップづくり（2008.8 上石神井、下石神井周辺）
- ・中学校の道徳の授業講師（2008.11 光が丘第二中学校）

ホームページ

<http://nerima831.exblog.jp/>

団体連絡先

vegecafe-nerima@hotmail.co.jp

団体拠点案内



活動場所

鎌馬区の畑のあるところ

練馬まちづくりセンター

発行日 2010年3月8日

取材／編集 練馬まちづくりセンター

デザイン 濱祐斗 [BEACH]

発行元 (財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター

練馬区豊玉北5-29-8 練馬センタービル 3階

Tel 03-3993-5451 Fax 03-3993-8070

Email machi@nerimachi.jp Web <http://nerimachi.jp>

練馬まちづくりセンターは、練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

これからの展望

若い人に、

より関心を持ってもらえれば

桜漬けや梅干を、農家さんに教わりながら作ったり、中学校の授業でベジカフェの活動を紹介させていただくなど、活動はとても充実しています。ただ、イベントの参加者がまだまだ揃いません。もう少し、告知の仕方に工夫が必要ですね。区内各地のイベントで、ポツポツ出てくる関心の芽をうまく繋ぎ、活動の輪が広がればいいなと思っています。

今後こんなグループとつながりたい!

中村小学校グリーンキーバース／ねりま・ごみフォーラム／まっぷす／小学校／プレーパーク

活動メンバー紹介

若間 有希さん



上石神井でカフェを営むパティシエさん。ねりま・ごみフォーラムの会員でもあり、環境にとっても関心が高い。ほんわかした笑顔が、魅力的。

足立 朋子さん



身近な食卓から環境までの根本を見つめ、様々な活動に参加する栄養士さん。彼女の次から次へと生まれる“ワクワク”と行動に、誰もが引き込まれてしまう。

他にもたくさんの方がいらっしゃいます！是非活動をのぞいてみてくださいね。

練馬まちづくりセンターは“まちづくり活動助成事業”で、ネリマ・ベジタブル・カフェを応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的としています。



【はばたき部門】助成金額30万円以内

身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動への助成



【テーマ部門】助成金額1年目10万円以内 2年目50万円以内

身近な場所で生き物を呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創り出す活動への助成



【たまご部門】助成金額3万円以内（年中受付しています）

上記2つの部門の様なまちづくり活動を始める、きっかけづくりや学習会などを開催するための助成